



作者：M.Aki (江東区古石場在住)

平成18年度講座「コミックエッセイを描こう！」を受講した方の作品を掲載しています。



● 材料(4人分)

白身魚(タラなど)200g、酒大さじ1、塩・コショウ各少々、片栗粉適宜、衣(卵1個、水大さじ1、片栗粉大さじ2、小麦粉大さじ2と1/2)、揚げ油、A【スープ(鳥ガラスープのもとを溶いたもの)150cc、梅肉(種を取り実を細かくたたいたもの)大さじ2、砂糖大さじ2、酢大さじ1と1/2】、片栗粉大さじ1、水大さじ2、ネギ10cm、ショウガ2~3片

●作り方

- ①白身魚は5mm厚さにそぎ切りして、酒、塩、コショウで下味をつける。5分ほどおき、水けをとって片栗粉をまぶす。
 - ②ボウルに卵をほぐして水でのばし、片栗粉、小麦粉を入れ、ダマがなくなるまで混ぜて衣を作る。
 - ③揚げ油を160～170度に熱し、魚を一切れずつ衣にからませてから入れる。上下を返しながら2～3分揚げる。揚げた魚の油をきり、皿に盛りつける。
 - ④片手鍋に混ぜ合わせたAを入れ、火にかけて沸騰させる。水で溶いた片栗粉を入れてとろみをつけ、梅あんをつくる。それを③の魚にかける。
 - ⑤千切りしたネギとショウガを水につけ、パリッとさせてから水けをきったものを、④の上にのせる。

料理の腕が上がるほど 妻の味に近づいています

はじめは、寝たきりの妻から「味付けの順番は、さしすせぞだからね」なんてアドバイスをされながらの試行錯誤でしたよ。それでも、少しずつ出来るようになると、今度は同じメニューの繰り返しになつてしまふんですね。青菜を買ってきてもおひたしにするぐらいで、献立が庄がらない。そんなことから、料理の基本と応用を知りたいと用い、男女共同参画推進センターの講座「男の厨房」へ通うことになりました。

妻は今年の夏
に亡くなりまし
たが、今では毎
食違うものを作
れるようになつ

料理は誰でも数をこなせば出来るようになるものです。定年後覚えた私も、近所の友人を呼んで一緒に食事をするまでになりました。栄養バランスを考えて作ることで体調も良くなつてきたので、このまま食生活に気をつけて、好きな山登りも続けてながら、95歳で大往生した私の母のように、元気で長生きしたいですね。



7
今回の
料理人

はた やま ゆたか
畠山 豊さん
豊洲在住



料理をはじめ

この講座では、献立のアドバイ

たので、天国で安心しているかもしれません。料理をしていると、煮物の味などが長年親しんじ妻やお袋の味になっていくもので、おもしろいものだなと思っています。

男女共同参画推進センターでは、講座の受講や施設を利用して男女共同参画学習・活動をされる方を支援するため、専任保育者による一時保育を行っています。

保育にあたっては、七夕やミニ運動会など、季節の行事を取り入れています。保育室のおもちゃはお手玉や布人形を手作りしたり、自由な発想で遊べる積み木などを選んで設置しています。また、安全面に配慮し毎月避難訓練を実施しています。

月1回、無料の保育説明会も実施していますので、ぜひ一度ご参加ください。

男女共同参画推進センター内 保育室のご案内



曇りガラスは大きなキャンバス！「何を描こうかな」



こどもたちにも大好評の積み木。
協力し合って、タワーを作ります。

保育時間

- ①午前10時～正午
②午後2時～4時

料金：2時間300円（おやつ代込）
対象：1歳6ヶ月～就学前までの
混合保育